



## 学塾通信 9月号（第81回）

～学塾は一人ひとりが目標に向けて真摯に取り組む教室である～

9月16日(月)は祝日開校日です。

9月23日(月)は調整休校日です。

私たち大人が子どもたちへかける言葉によってやる気を起こさせることもあれば、その逆もあります。子どもたちがやる気を出すのは「頑張りが認められたとき」「自分でも成果を感じることができたとき」「褒められたとき」です。その逆にやる気を削ぐのは否定の言葉です。

上位校を目指すのであれば厳しく子ども同士を競争させて、たくさんの宿題を課すことで学力をつけていくこともできるでしょう。しかし、そうではない子どもたちには「楽しくかつ成績が上がる」環境が必要です。

学塾には、“すらら”というデジタル教材を用いてインターネット上で授業を行う「自立学習コース」と講師が1:2で直接指導をする「スタンダードコース」があります。指導内容としては、すららも非常によくできており、授業料もスタンダード授業と比べてもリーズナブルになっています。それでも、ほとんどの生徒が1:2の個別指導を受講しています。すららだけの学習という生徒はほんのわずかです。おそらくその理由は、スタンダード授業では担当講師とのコミュニケーション・対話があるからだと考えています。講師との対話を通じて、「先生はわたしに興味・関心を持ってくれている」という実感があるからではないでしょうか。

すでに部活動を引退した受験生もいると思いますが、これまで部活動をしていた時間を受験勉強に充てるようにしましょう。学校や図書館などで勉強するのもよいですが、できるだけ塾の自習室を使うことをお勧めします。というのも日々の頑張る姿を私たち講師も見ることができるからです。

学塾には20名の講師が在籍しています。通塾日以外にも教室で学習をすることで、多くの講師と接点を持つことができます。これから先、受験に向けて質問もしやすくなりますし、受験勉強のモチベーションの維持にもつながります。

「最近よくがんばってね」「何かわからないことがあったら聞いてね」「よくできるようになってきたやん」。  
何気ないことですが、子どもたちにやる気を起こさせるにはこのようなやり取りが大切です。

## ☆小学生☆

OG-kids コースについて

9月1週目から授業再開です。

このあとの中学1・2年生の内容にも関連することですが、小学生の間に自分で考える習慣を身につけさせたいと思っています。今の子どもたちは試行錯誤することが苦手です。

早く答えを知りたがる。我慢ができない。

そんなときは、幼児であれば積木、小学生以上であればパズルが有効です。

パズルをさせているところを観察していても、試行錯誤ができない生徒は少し考えてわからなければ放棄します。それ以上は考えようとしません。これは後々、各教科の学習でわからないことが出てきたときにも同じような状況になることが想像されます。

そこで、G-kids コースではパズルの時間を取り入れています。

タイマーで時間を区切り、試行錯誤しながら時間内に解答を導くトレーニングはとても効果的です。

## ☆中学1・2年生☆

「演習量が足りない」。普段の取り組みを見ていて全体に感じることです。ある程度テストで点数が取れている生徒も、テスト前に追い込むから取れているところがあり、それでは実力とは言えないように思います。

「この問題みたことありません。だから解くことができません。」

このような言葉をよく耳にします。

見たことがないからできないのではなく、まず、どのようなすれば解くことができるのかを考えます。試行錯誤するためには、それなりの問題数をこなす解法の引き出しをつくっておくことが重要です。

2年生は夏休みの宿題の数学のプリントが難しいと言っていました。質問の際に白紙で持ってくる生徒もいます。全部わかりませんというスタンスでは見たことある問題しか解けません。

演習量を増やし、試行錯誤する習慣をつけましょう。

「ほどほどで良い」では、ほどほどの結果しかついてきません。

自分の可能性を信じて、より以上を目指していきましょう。

## ☆中学受験生☆



6年生は新たに学ぶことを終え、ここからは実戦形式の学習がスタートします。

問題を解いたあとの見直し・やり直しを大切にしてください。間違えていた問題を改めて解き直すことだけでなく、正解していた問題でももう少しスマートに解くことができないかどうかまで考えてみましょう。もちろん、授業内でもアドバイスはしていきます。

試験時間が決まっている以上、たとえ正解であったとしても1問に多くの時間をかけてしまっただけでは全体として合格点を取ることはできません。

入試当日に合格点を取るために、これまで学んできた知識を確実のものにしましょう。

10月末には受験校を決めて、残り3か月で傾向と対策を十分に行っていきます。  
ここからどんどん実力を身につけていきましょう。

#### ○模擬テストについて

五ツ木の模擬テスト(5年生・6年生)  
9月1日(日)

模試受験後は必ずやり直しをしましょう。

### ☆高校受験生☆

夏期講習会では各教科のテーマを決めて取り組みました。

数学では各都道府県の入試問題の大問1(計算問題・小問集合)をテストし実戦経験を積みました。

毎回のテストを通して少しずつ正確性が向上していることを実感しています。

冬休みから入試直前特訓でそれぞれの志望校に向けての対策を行います。

そのために中学3年生の範囲については12月上旬に終えるような進度で進めていきます。

#### ○模試の案内

五ツ木模試 9月15日(日)

今回から必須受験となります。

初回なのでうまくいく点と反省点が出てきて当然です。受験後の復習に力を入れてください。

### ☆大学受験生☆

大学受験生のみなさんとは7月末から入試までに取り組む内容を一覧にしました。

それをもとに、受験まで進めていきましょう。もちろん受験校が変更になることもありますので、そのような状況になった場合は随時連絡をお願いします。内容を修正していきましょう。

模試の判定が気になるでしょうが、合否が決まるのはあくまでも当日の結果次第です。模試の結果に一喜一憂することなく復習に力を入れましょう。大学受験生は全受験生の見本となる取り組みをしてくれています。今の取り組みを続けるのがベストです。

学塾【URL】 <http://gakujyuku.com> 【FACEBOOK】 <https://www.facebook.com/gakujyuku>  
【Instagram】 <https://www.instagram.com/gakujyuku/>